

<p>第 1 5 9 号</p> <p>令和 2 年 4 月 1 日</p> <p>発行</p>	<p><b>働く願いを</b></p>  <p><b>みんなのものに</b></p>	<p>社会福祉法人 いなりやま福祉会</p> <p>〒387-0021 千曲市稲荷山 2046-1</p> <p>TEL026-272-6645 FAX026-272-6646</p> <p>E-mail: <a href="mailto:mantennohoshikirakira@ybb.ne.jp">mantennohoshikirakira@ybb.ne.jp</a></p> <p>発行人 安藤 正幸</p>
--	--	---

## 2020年度スタート！！

新年度を迎えるにあたり、法人役員会を3月25日午後6時00分から満天の星に於いて開催しました。

2019年度の補正予算については、台風災害やコロナウイルスの影響により、就労事業の下請け関係が減収となりました。また仲間の皆さんが日々施設を利用することによって給付される報酬は、年度途中の欠員やインフルエンザ感染によりグループホーム待機等で施設に通えない状況も生じたため7,500,000円の減収となりました。

事業計画については、いなりやま福祉会は昭和55年任意団体として発足40周年を迎えます。発足当初に掲げた「働きたい、友だちがほしい、社会参加したい」という仲間の皆さんやご家族の願いを大切にしながら法人運営をしていくことを確認しました。また、今後仲間の皆さんの高齢化、ご家族の体力低下や病気等に伴う介護力低下の問題など、法人としてどう考え、支えていくのか大きな検討課題もあります。

2020年度の予算については、法人全体では284,145,000円となります。

(理事長 安藤 正幸)

## いなりやま共同作業所の就労移行支援事業を廃止します

平成19年に開所したいなりやま共同作業所は多機能型事業所として、就労移行支援事業（定員6名）と就労継続支援B型事業（定員14名）を行ってきましたが、就労移行支援事業を希望する仲間の皆さんが減少傾向にあり、令和2年3月31日をもって就労移行支援事業を廃止し、新たに4月1日から就労継続支援B型事業（定員20名）として運営していくことになりました。

### 就労移行支援と就労継続支援B型の違い

	就労移行支援事業	就労継続支援B型事業
目的	就職するために必要なスキルを身につける	働く場
対象者	一般企業へ就職することを希望する方	一般企業への就職が不安または困難な方
工賃	基本はなし（当会はB型と同様）	あり
利用期間	原則2年間以内	定めなし

### いなりやま共同作業所の沿革

平成19年 多機能型事業所いなりやま共同作業所開所（定員20名）

22年 いなりやま共同作業所2階にて生活介護事業開始（定員10名）

29年 生活介護事業所「はなたば」開設に伴い、「いなりやま共同作業所」生活介護事業は「はなたば」に移行

令和 2年 就労移行支援事業を廃止し、就労継続支援B型事業（定員20名）とする

## 《私たちの活動のようす》

### 「はなたば」

外出レクリエーションが楽しみな「はなたば」の仲間の皆さんですが、新型コロナウイルスの影響で現在は室内での活動を余儀なくされています。仲間の皆さんと職員がアイデアを出し合い、室内でも楽しめるレクリエーションを行っています。室内ボーリングやカラオケ、卓球など心と体がリフレッシュできるレクリエーションを楽しんでいます。「はなたば」の仲間、職員一同早くこの新型コロナウイルスが収束する事を願っています。

(管理者 上原 一輝)

室内  
ボーリング



盛り上がる  
卓球です！



### 「満天の星」

満天の星では、2月に焼き芋販売強化月間といたしまして通常の金曜日の販売とは別に5回の特別販売を行いました。仲間の皆さんもチラシのポスティングや焼き芋を入れる袋の作製などに精をだしました。またご家族や買って下さった方々の宣伝や呼びかけのおかげでたくさんのお客様に購入していただきました。4月は焼き芋販売最終月なので、ご来店お待ちしております。

ケーブルネット千曲でも放送されました！



2月13日に JA グリーン長野川中島女性部の皆さんによる「草木染め体験と稲荷山重伝建見学」を開催しました。28名の女性部の皆さんは、川中島特産の桃の枝を原料にしたストール染めと、満天の星の仲間の皆さんと稲荷山の国の指定を受けた重要伝統的建造物の見学を楽しんでいただきました。

女性部の皆さんは染め上がりの桃色に感激！稲荷山の路地裏も「また訪れたい」との感想をいただきました。

(支援員 神山 佳大)



かわいい保育園グッズ  
をそろえてお待ちしております！

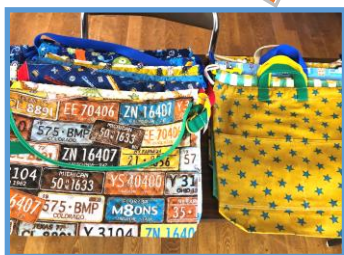
### 「いなりやま共同作業所」

今年も一日入園に合わせて、保育園での出張販売をさせて頂いたり、作業所へ直接買いに来て頂いたり、たくさんのお客様に保育園グッズを手にとって頂きました。購入頂いた商品をビニール袋に入れ、お客様に手渡す仲間と受け取ったお客様が「ありがとうございます」という言葉を交わし、お互いが笑顔になる場面を何度も見ました。

また、買いに来ていただいたお客様に、「いらっしやいませ」「こんにちは」という気持ちの良い挨拶が作業中の仲間の中からも聞こえてきます。その挨拶で、施設内に初めて入る不安そうな表情のお客様が、笑顔に変わる瞬間も多くありました。

どのお子様にも、いなりやま共同作業所の保育園グッズを気に入って使って頂けるように心を込めた縫製、販売活動をしていきたいと思ひます。

(支援員 松澤 美和子)



### 「グループホーム」

こんぺいとう、たんぼぼの家、ふっくらの各グループホームでは新型コロナウイルス及びインフルエンザ予防の対応として、仲間の皆さんの手指の消毒、建物の手すり、トイレ、机などの消毒に力を入れています。また毎朝、全員の検温を行い、体温のチェックをしてから通所するようにしています。週末も仲間の皆さんは外出は控えるようにしています。仲間の皆さん、職員とも万全の対応をして、この新型コロナウイルスの危機を乗り越えていきたいと思ひます。

(支援員 松本 武典)

食事の前には両手を  
アルコール消毒しています



## 《がんばれ仲間たち！！ 就職おめでとう・・・》

いなりやま福祉会では、一般就労を希望する利用者さんを応援しています。2019年度に一般就労した方と、新聞配達勤務6年で表彰された方の3名より話を聞いてみました。

※国でも障害者雇用に力を入れているものの、施設からの一般就労は3%にも満たない現状です。

### 久保田淳一さん（満天の星）

私は、トライアル雇用を経て、今年の1月より某病院に一般就労しました。午前10時から午後4時まで働き、職場には自分の車で通勤しています。現在はME課（臨床工学課）に在籍しています。仕事は主に治療に使う器具やマッサージ機の消毒を行っています。現在、コロナウイルスの影響で、病院の中の環境が厳しく、大変です。入社したての頃は慣れないことも多く、また上司の方の指導についていくことが大変でした。現在は仕事にも慣れ、人間関係も良好で楽しく仕事ができています。また、職場の仲間にもいい刺激をもらいながら仕事ができています。満天の星在籍時は皆さんには大変お世話になりとても感謝しています。これからも仕事頑張ります。

PS：「満天の星の喫茶のコーヒーが恋しい！」

### 西澤雅貴さん（満天の星）

私はトライアル雇用を経て2019年9月より工業機械の製作所に一般就労しました。月曜～金曜の午前10時から午後5時までで1日7時間働いています。仕事には自転車通勤しています。棚入れとって、仕分けされた部品を棚に整理していく仕事をしています。スキャナーで情報を読み取って、数などをチェックしています。

最初は部品を入れる場所が分からず、迷ってしまいました。ですが上司の方の指導もあり、今では部品の特徴などを覚えスムーズに作業ができるようになりました。大変なことも多いですが、頑張っています。

PS：「最近外国人労働者の方とも仲良くお話ししています！」

### 井出かんなさん（いなりやま共同作業所）

井出さんは、2014年1月から始めた新聞配達が今年で6年目となり、「株式会社信販販売センターふれあいネット」より表彰されました。そこで、ご本人に仕事について伺ってみました。

Q：新聞配達をする中で楽しかったこと、大変だったことはなんですか。

A：毎朝2時に起きて出勤します。天気の悪い日は新聞にラッピングする作業があるため大変です。冬は雪が積もると自転車を引いて行かなければならず、足元が凍っていて転ぶこともありました。そんな冬の間は春の桜の開花を思い出し、配達に精を出しました。それと、飼っている猫ちゃんが帰ると出迎えてくれるので疲れが吹き飛びます。お仕事もお給料も増えたこと、昼間の空いた時間は自分の趣味に使えるので良かったと思っています。

Q：今後の目標や今の思いを教えてください。

A：自分を強くしようと思って、新聞配達を始めました。今では、困難を乗り越えるたびに自信につながっています。

今後も続けていくことで、母親や兄を支えていけたらと思っています。仕事が6年続いたことは今回が初めてですが、定年になるまで頑張っていきたいと思っています。



※トライアル雇用とは・・・

経験や技能などの不足から安定した職に就けない者を対象に、企業が3ヶ月間という期間の中で試用雇用する制度です。ハローワーク等の紹介を受けて安定した職に就くことへの道が開かれます。

# 家族会だより

いなりやま福祉会は、昭和55年に障がいのある方やそのご家族、賛同する人たちによって稲荷山療育園（現稲荷山医療福祉センター）の一室をお借りして日曜作業所として歩み始めました。

家族会の皆さんには当時の任意団体の頃から、運営の中心となり、地域への呼びかけや市長さん始め行政への陳情に力を注いでいただきました。社会福祉法人としての施設運営や親亡き後の生活の場としてのグループホーム作りを目指し、いなりやま福祉会の歴史を作ってきました。そして今も家族会としてバス旅行やいな福まつり、資源回収などいなりやま福祉会事業への協力、また発足当時から開催している職員と家族会の会議も月1度定例で行い、意思疎通を図っています。

いなりやま福祉会はこれからも利用者さんやご家族の思いに寄り添いながら共に歩んでいきたいと思えます

(理事長 安藤 正幸)

## 令和2年度 いなりやま福祉会家族会役員です

会 長	細尾さおり	(はなたば所属)
副会長	荒川初江	(満天の星所属)
副会長	高森すみ江	(いなりやま共同作業所所属)

### 感謝の気持ちを大切に・・・

はなたば開所時からお世話になり早3年が経ちました。振り返りますと養護学校卒業後の進路がなかなか決まらずに自分自身も仕事を持ちながら、ただただ不安の毎日を過ごしていました。そんな折、いなりやま福祉会関係者の方に話をしたところ「地元で障がいのある人が困っていることは私たちも辛いことだ」とお話をいただき、「ずっと」心がほぐれていく思いを今でも鮮明に覚えています。

支援を多く必要としている息子は受け入れが困難ではないかと心配もありましたが、今では利用者の皆さんや職員の方にたくさん声をかけていただき、毎日楽しく通うことができます。

人の縁、言葉の縁を大切に、人の心を動かすのもまた人であると思えるこの頃です。今年度は家族会の会長としてお世話になりますが、感謝の気持ちを忘れずに自分らしく頑張ろうと思っています。

細尾さおり

## いつまで続く？新型コロナウイルス感染症・・・

新型コロナウイルスが私たちに不安と混乱を広げています。当会でも感染拡大を防止する観点から、検温、マスク着用、アルコール消毒等の実施はしていますが、目に見えない不安要素は拭き切れません。

感染症の影響は当会の活動にも大きな影響が出ています。3月に実施予定だった恒例行事の稲荷山地区資源回収はやむなく中止。3月・4月に参加予定だった地域行事も軒並み中止となりました。また利用者さんの日々の作業も、流通が途絶えてしまったことにより、下請け作業全般、特に箱折りの仕事量は激減しています。

いつまでこの状況が続くか皆目見当もつかず、苦肉の策として、手作りマスクを施設で作りはじめたものの、今度はマスクのゴムやガーゼがお店から消えています。

経済にも大きな打撃を与えている新型コロナウイルス。病原体を持ち込まない、持ち出さない、拡げない。一人ひとりの意識は大切だとは思いますが、願わくば一刻も早く収束してほしいものです。